

愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模等の検討並びに老朽化対策を進めています。今回 (Vol.16) は、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」、「地域の避難所となる学校施設に必要な防災機能と事例」と、「準備委員会公募委員の再募集について」について、お知らせします。

「新しい時代の学び」を実現する学校施設の在り方

（「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】より引用）

文部科学省は、令和4年3月30日に、「新しい時代の学び」を実現する学校施設の在り方についての報告書を発表しました。これから本市で、小・中学校の適正規模化、老朽化対策を進める上で重要な考え方になりますので、ご紹介いたします。

◆新しい時代の学びとは

学校の ICT 環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現するもの



教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例

●横断的な学び、多目的な学びに対応できる

多目的スペースの整備

教室だけでなく、個別指導や少人数学習など、柔軟に対応できる多目的スペースが存在することで、平時は、子どもたちの様々な活動の場所として利用でき、災害時は子どもたちの避難時の集合場所や、地域住民の避難生活時の交流の場として活用できる。



●ラーニングコモンスの設置

学校図書館とコンピューター教室を組み合わせ、読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニングコモンス」(※)として活用する。

※ラーニングコモンス：図書館などに設けられる、総合的な自主学習のための環境。



裏面には、「地域の避難所となる学校施設に必要な防災機能と事例」「準備委員会公募委員の再募集」について掲載しています。

地域の避難所となる学校施設に必要な防災機能と事例

◆地域の避難所となる学校施設に必要な防災機能とは

避難所となる学校施設では、被災した地域住民を受け入れ、食料を初め、生活関連物資の配布や、保健医療サービスの提供などの活動が行われるため、必要なスペースや備蓄等を確保するとともに、電気、ガス、水道、情報通信等の機能を保持できるよう、代替手段も含めた対策を予め講じておくことが重要になります。

また、特別な配慮が必要な方々のための専用スペースやバリアフリー化を進めておくことも重要となります。

学校施設の防災機能について～他市町村の事例～

●愛知県大府市立大東小学校



写真：マンホールトイレ

愛知県大府市立大府小学校から分離して、2012年に開校した大東小学校は、「地域の生活圏の防災拠点」「コミュニティスクール」をコンセプトに掲げており、一例として、プライバシーの確保に主眼をおき、プール管理棟内の屋内に3か所、マンホールトイレを設置しています。



今後の愛西市立学校施設について

今後、小・中学校を改修あるいは改築するにあたり、前記の視点も含めて、準備委員会の中で学校施設の在り方について検討を重ねてまいります。

準備委員会公募委員の再募集について

今後、施策ごとに設置する準備委員会について、令和6年6月24日より公募の委員を募集しましたが、定員に達しませんでしたので、再度募集します。

- 1.募集期間 令和6年8月15日（木） から 令和6年9月5日（木）まで
- 2.応募方法 ホームページにございます「愛西市審議会等公募委員申込書」に必要事項を記入し、学校教育課窓口、郵送、FAX、またはメールで提出してください。

※応募資格や募集人数、任期等については、ホームページの要項をご確認ください。



市ホームページ

(これまでのチラシもご覧いただけます)

お問い合わせ先 愛西市教育委員会事務局教育部学校教育課
0567-55-7136 / gakkou-kyoiku@city.aisai.lg.jp

